

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.1



環境学習講座のご案内

子ども向け、
大人向け講座
開催予定!



～お水の教室～

公園でろ過実験をしてみよう!

水のろ過実験やカルタのゲームを通して、世界の水問題と身近な暮らしの水について学びます。

(対象：小学生と保護者)

開催日/7月27日(日)

募集/7月1日から

講師/野田岳仁氏

(NPO法人Waterscape代表)

・青山学院大学非常勤講師) 講座資料「お水の教室」より



バナナのDNA抽出実験で「おもの種」を学ぼう

野生生物の絶滅についてクイズで学び、全員がDNA抽出実験を行います。

(対象：小学生と保護者)

開催日/8月10日(日)

募集/7月11日から

講師/深澤秀治氏

(一般社団法人
環境教育振興協会理事)



リサイクル万華鏡作り

都市ガスがお家に届くまで、ガス管のリサイクルのことを聞いたり、ガス管を使った万華鏡づくりをします。

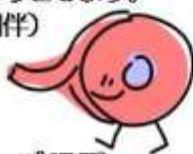
(対象：小学生*3年生以下は保護者同伴)

開催日/8月20日(水)

募集/7月21日から

講師/齋藤昭義氏

(東京ガス(株)中央支店 地域広報グループ 課長)



さき布から「そうり」を作ろう

受講者に持ってきていただく古布を使って、オリジナルのそうりを2日に渡って制作します。

(対象：2日とも出席できる中学生以上)

開催日/9月21日(日)と23日(火)

募集/8月21日から

講師/宮嶋清司氏(そうり研究家)

作業風景→



LED照明を効果的に使うノウハウ

LED電球やLED住宅照明用の器具などの使い方、楽しみ方を学びます。

(対象：中学生以上)

開催日/9月28日(日)

募集/8月21日から

講師/小宮 章利氏 (ジャパンソウル半導体(株)顧問)



夏休みの

★自由研究にチャレンジ★

自由研究の参考になる資料を用意します。気象関係については気象予報士が疑問に答えます。実験もできます。

(対象：小学生と保護者)

開催日/8月12日(火)

募集/7月11日から

講師/大島正幸氏(気象予報士)



講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。

応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

絆ひろげるボランティアシップ eco しながわエコ2014 フェスティバル

5月25日（日）晴天の下、‘しながわECOフェスティバル2014’が開催されました。当日の東京の最高気温は27.3℃でしたので、会場のしながわ中央公園は、場所によっては30℃近くになっていたかも知れません。その中で、昨年以上の26,436人の来場者がありました。

(1)ごみ・資源回収

ごみは持ち帰りが原則です。ごみの量は年々減少しているそうですが、今後も更に減らしたいですね。これには参加者皆さんの協力が第一です。また、今回は回収型容器「リ・リパック」（食のブースで使用）が使われていました。これは容器（トレイ）の内側にフィルムが貼ってあり、使用後はそれをはがして、フィルムは燃えるごみに、トレイは別途回収して資源としてリサイクルするというすぐれものです。



(2) エコカーとカーシェアリング

水しか排出しない「燃料電池車」ですが、実用化はこれからです。普及し始めている「電気自動車」、今後が期待されるエコカーの試乗会がありました。試乗した人は「非常に静かで、快適な乗り心地でした」と話してくれました。



燃料電池車



電気自動車

EV（電気自動車）カーシェアリングの紹介もありました。カーシェアリングは、自動車の利用頻度を抑えることにより、エネルギーの節約や 排出ガスの削減につながり、エコに貢献します。また、経済的でもあり、カーシェアリングのステーションが増えています。

(3) 小学生が保護者と参加したワークショップ

非木材パルプを使ったハガキ作り、間伐材に色を塗ったり組み立てたり、アクリルたわし編み、顕微鏡による自然観察、望遠鏡の組み立てやLEDライトで光の三原色の不思議体験などを楽しみました。



その他にもさまざまな企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができたと思います。

講座「春の寄せ植え」のサギソウ、その後

3月11日（火）に開催した「春の寄せ植え」講座で作ったサギソウの最近（6月3日）の様子です。



教えていただいた山野草栽培のポイントに従い、水やりや日当たり注意到ころ、4月になって芽を出し、6月にはずいぶん伸びました。葉をまっすぐにして測ると約30cmで、15cmの青いボールペンと比較すると大きさがわかりますね。



青いボールペンとの比較



講師の作品
(昨年8月)

7月～8月の開花が本当に楽しみです。

サギソウは日当たりの良い場所を好みますが、暑い夏には遮光ネットで温度を下げるなど、熱がこもらないようにすることが大切です。

環境記者活躍中

環境記者のKさんから送っていただいた、マンションのごみ問題についてのレポートです。

品川区では、ごみを減らす「3本の矢」①リデュース(ごみそのものを減らす) ②リユース(くり返して使う) ③リサイクル(再生利用)の「3R」を推進している。

我が家のマンションでのごみ処理の現状について報告したい。私のところは、東品川にある約130世帯のマンションである。管理人さんから話を伺った。

分類の仕方がわからずに、置いたまま(放置)になっているものがしばしばあるという。分別方法をわかりやすくし、分類の箱の色分けなどで工夫をしているが、やはり管理人さんの整理整頓の手がかかっているのが現状のようだ。



チラシやA4サイズの紙類などは資源ごみになるが、ついつい燃やすごみとしてしまうことが多い。家庭内で工夫すればもっと簡単に資源ごみができるはずである。また「プラ」と書いてあっても小さいサイズであると、これもまた燃やすごみに入れてしまうことが多い。しかし、これも家庭内で分類すればすぐに資源がたまる。さらに、プラスチック容器も汚れの判断が難しく、燃やすものに入れてしまいがちだが、少量の水を流すことできれいになり、資源になり得る。

話を聞くと燃やすごみは減り、資源が増えることがよくわかった。管理人さんは、「ごみを減らすには、まず一人ひとりの意識からです。マンション内のごみ削減に努力していきましょう。協力していきます」とおっしゃっていた。

一人の行動にとどまらず、これらの取組みはマンションサロンの集まりの時に説明し、さらに共有し意識を広めていきたいと思っている。



山を登るオオバコ

オオバコの花茎をからませて、引っ張り合っただけで遊ぶことはありますか。花といっても花卉は目立たず、穂のまわりに、白い糸のようなものがちらちら出ています。これは雄しべです。



オオバコ

オオバコは穂の下の方から花を咲かせていきます。

実った種子は地上に落ち、水分に出会うと、ゼリーのように粘ります。これが車や靴底にくっついて運ばれ、行き着く先々で芽を出します。

別名は車前草、舗装のない時代には、人が行きかう場所に生え、踏みつけに強い植物として有名です。近年は登山道でも見かけることが多くなり、山の植生を乱すと話題になっています。ある山系では2000mの高さからの報告があります。垂直分布を広げている一方、平地で見かけることは少なくなりました。



ツボミオオバコ

平地のオオバコと入れ替わったのは「ツボミオオバコ」という乾燥に強い外来種です。雄しべが外側に出ず見えないため「つぼみ」とみなされる

のが名前の由来で、北米原産です。

道端や河川敷などの空き地に目立ってきた、園芸店にも並ぶハーブ「ヘラオオバコ」は、販売されるだけあって、「大きい葉」を表す名を持つオオバコ(大葉子)よりも、大型で、花は派手で、観賞に適しています。この葉は細く、長く、ヘラのような形をしているところから、その名が付けました。



ヘラオオバコ

ヨーロッパ原産です。オオバコの外来種には、ほかにもセリのような葉、糸のような葉を持つものがあります。

ガラパゴスには固有種「ガラパゴスオオバコ」があります。果実の中の種子の数は、固有種は2個、外来種で18個といわれます。この地でも外来種に押され気味のようです。



ガラパゴスオオバコ

植物は適地に生えるものですが、日本にある普通の植物が、いつの間にか外来種にとって代わられているかもしれません。日頃から身の回りの自然、地域の自然に関心を払いたいものです。

(環境カウンセラー 倉田智子氏)

こんな講座を開催しました

“今年こそ緑のカーテンを作しましょう” 4月27日
講師 しがわ区民公園管理事務所長 丸山 均 氏

前半は種まきから苗の植え付けまで、講師の昨年の観察記録、育成環境、適温、用土、肥料等の詳しい解説があり、後半は実習でした。

参加者には種の植え付け鉢としてプラスチック製のトレイと紙製のエコ鉢が配られました。紙製のエコ鉢は鉢のまま移植でき、環境にやさしいすぐれものです。



種はゴーヤ、千なりひょうたん、大ひょうたんとアサガオの四種類が配られました。ゴーヤの種はとても硬いので発芽しやすくするため、種の尖った方を爪切りなどでカットします。種は切った方を上にして入れ、土をかぶせます。

紙のプレートに日付を入れて差し込み、たっぷり水やりをしました。本日の実習はここまでです。

家に持ち帰り本葉が2~4枚揃ったら本植えです。プランターに鉢底石、赤玉土、培養土の順に入れ、苗を植え付け、水をたっぷり与えます。40日ほどでツルが伸び出し、添え木が必要になります。マンションのベランダ等に設置する場合、非常用壁板のまわりやハッチの上には置かないようにしてください。



講座出席者からのお便り

暑い日が続いたこともあり、3週間ほどで発芽し5月30日には下記のように育ちました。ゴーヤは発芽しやすいようにカットしたのですが、カット失敗でしょうか。ひょうたんは発芽し易いのか、よく発芽しました。プランターへの植替えが必要ですが、ベランダが狭いこともあり大きなプランターを準備できず、小さいもので我慢することにしました。

種類	種の個数	発芽
アサガオ	6	2
ゴーヤ	6	1
千なりひょうたん	6	4
大ひょうたん	1	1

アサガオ2苗、ゴーヤ1苗、千なりひょうたん2苗、大ひょうたん1苗を栽培することにしました。アサガオの色はどんなかしら？などと成長を見守っています。



←アサガオ



ゴーヤ→



千なりひょうたん



大ひょうたん

“いろんな色が見えてくる！？
エコで不思議なコマ作り” 5月18日
講師 アズビル株式会社 門倉 誠 氏

結納台を作るときに出る端材を利用してコマを作りました。

コマに黒一色だけで模様を描いた紙をのせて回してみると、黒以外の色が現れるように感じます。各々模



様を描いてコマを作り、他の色が見えるか試してみました。かすかに他の色が浮かんで見えて歓声が上がりました。

端材を捨てないで有効利用してコマ作りをし、こんなに楽しい時間を過ごすことができました。また、端材にキリで穴を開けるという作業を通して、木の硬さ、手触りを体感しました。環境や自然素材を大切にする気持ちにほんの少しでも繋がってくれたらと思います。



ほかにもこんな講座を開催しています！

- 5月27日「春の寄せ植え」（園芸講座）
- 6月8日 「小笠原諸島の自然」
- 6月15日「間伐材を使って楽しい工作をしよう」
- 6月29日(予定)「LED照明で快適生活」
- 7月6日(予定)「新エネルギーと風力発電機作り」
- 7月13日(予定)「コラージュで飾る保温・保冷マグカップ作り」

しがわECOだより 2014年度Vol.1

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしがわ

発行日：平成26年6月23日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています